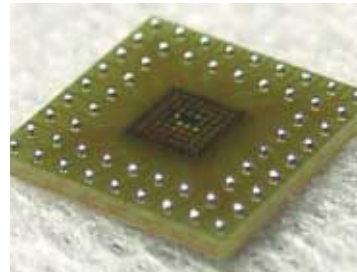


■ EWLPコンソーシアムを設立

半導体チップと同じサイズのパッケージを作ることを可能にするWLP技術をさらに一歩進化させ、これを基板の内部に組み込むEWLP(Embedded Wafer Level Package)。携帯電話などの先端機器に必要な、回路の一層の高密度化を実現できる技術です。当社は日本シエムケイ(株)と共同で開発してきたこの技術を確立・標準化するために、2006年4月に「EWLPコンソーシアム」を設立。半導体・セットメーカーなどの各社様のご参加をいただき、設計・製造・流通などの研究を進め、普及に努めています。



■ 山形カシオが「2005年日経ものづくり大賞」「TPM特別賞」を受賞

2005年11月、山形カシオ(株)の「成形・金型工場のデジタルネットワークシステム」が、日本経済新聞社の主催する「日経ものづくり大賞」を受賞しました。徹底したIT化によって、金型製作から成形まで一貫して手がけるシステムを構築したことにより、6年前には2ヶ月かかっていた携帯電話用の金型製作期間を20日にまで短縮。国際競争に勝てるものづくりが評価されての受賞となりました。

また、同社は12月に、(社)日本プラントメンテナンス協会より「TPM特別賞」を受賞。製品原価低減、労働生産性の向上、工程内不良率の大幅引き下げなどに対する取り組みと成果が評価されての受賞となりました。



■ カシオの携帯電話が顧客満足度第1位を獲得

顧客満足度に関する調査・コンサルティングの国際的専門機関であるJ.D.パワーアジアパシフィックが行なった「2005年 日本携帯電話端末顧客満足度調査」で、カシオが第1位を獲得しました。同調査では携帯電話購入後1年以内のユーザー3,227人を対象に「品質・デザイン」「バッテリー」「メール機能」「カメラ機能」「ディスプレイ」「インターネット機能」「その他の機能」の7つの要因での満足度を調査。カシオは、これらのうち5つの要因で、調査対象11メーカーの中で最も高い評価をいただき、総合ランキングで第1位を獲得しました。



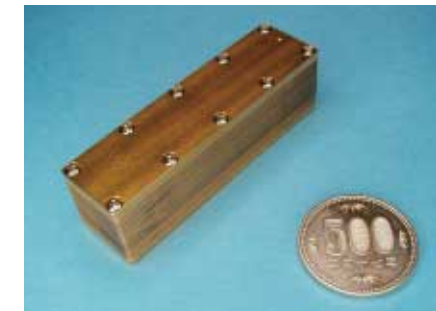
■ 中国の生産拠点を再編

当社は2005年6月、広東省中山市に、100%出資による中国最大の生産会社「カシオ電子科技(中山)有限公司」(写真)を設立。複数ある他の生産拠点の機能を新会社に集中・統合する作業を進めています。これにより生産技術のノウハウの蓄積、繁忙期の異なる品目を並行して生産することによる稼働率の平準化、物流面の効率向上などを図ります。

新会社を中心とした生産体制の再編により、生産及び物流のさらなるコスト低減とスピード化、中国国内市場への迅速かつ柔軟な製品供給に対応してまいります。



■ 燃料電池開発状況



当社はノートPCなどの携帯機器に最適な、小型・高出力の「改質型燃料電池」を開発中。メタノールから水素を取り出すマイクロ改質器を、実用レベルの性能と装備を持つモジュール(写真左)に進化させました。また発電部についても、携帯機器向けでは世界最高水準の性能を持つ小型セルスタック(写真右)を開発。これらの組み合わせにより、現在のリチウムイオン充電電池と同サイズで4倍の長時間連続稼働を可能にします。2007年度をめどに、性能評価用サンプルの出荷を開始する予定です。